



CITIZEN

2023年度（2024年3月期）
第2四半期決算説明会

シチズン時計株式会社
2023年11月13日

2023年度第2四半期業績概要

広報IR担当の古川です。
2023年度第2四半期決算につきまして、ご説明します。

(単位：億円)	2022年度 2Q累計実績	2023年度 2Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,476	1,529	+52	+3.5%
営業利益	123	135	+11	+9.6%
営業利益率	8.4%	8.9%	-	-
経常利益	168	174	+6	+3.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	126	133	+7	+5.9%
為替レート	¥131/USD ¥138/EUR	¥139/USD ¥152/EUR		

- 売上高 時計事業を中心に好調さを保ち、増収
- 営業利益 主に時計事業が全体を牽引し、増益

第2四半期累計期間の損益計算書の概要です。

売上高は、時計事業を中心に好調さを保ち、1,529億円と3.5%の増収となりました。
営業利益は、円安の効果もあり、135億円、9.6%の増益です。
営業利益率は、8.9%でした。

経常利益は174億円、3.7%増益、
親会社株主に帰属する四半期純利益は133億円、5.9%の増益となりました。

2023年度第2四半期累計（4-9月） セグメント別業績推移

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2022年度	2023年度	前年同期比	
	2Q累計実績	2Q累計実績	増減額	増減率
時計事業	733	785	+ 51	+7.0%
工作機械事業	409	414	+ 5	+1.3%
デバイス事業	229	221	▲ 7	▲3.2%
電子機器他事業	104	107	+ 3	+3.0%
合計	1,476	1,529	+ 52	+3.5%
営業利益				
時計事業	88 (12.0%)	102 (13.0%)	+ 13	+15.9%
工作機械事業	55 (13.5%)	52 (12.6%)	▲ 3	▲5.5%
デバイス事業	0 (0.1%)	4 (1.8%)	+ 3	+1708.2%
電子機器他事業	7 (7.1%)	6 (6.3%)	▲ 0	▲9.3%
消去又は全社	▲ 27	▲ 29	▲ 2	-
合計	123 (8.4%)	135 (8.9%)	+ 11	+9.6%

4

こちらはセグメント別業績の一覧です。

時計事業は、前年比7.0%の増収、15.9%の増益、営業利益率13%となり、好調を維持しました。

工作機械事業は、1.3%の増収となったものの、仕入れ部材のコスト高の影響などにより、5.5%の減益となりました。

デバイス事業は減収となりましたが、若干の増益となりました。

電子機器他事業は増収となりました。

(単位：億円)	2022年度	2023年度	前年同期比	
	2Q(7-9月)実績	2Q(7-9月)実績	増減額	増減率
売上高	763	802	+38	+5.1%
営業利益	67	80	+12	+18.3%
営業利益率	8.9%	10.0%	-	-
経常利益	82	94	+11	+14.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	53	71	+17	+32.0%
為替レート	¥137/USD ¥140/EUR	¥144/USD ¥157/EUR		

続いて、第2四半期、3ヵ月間の連結業績についてご説明します。

売上高は802億円、5.1%の増収、
営業利益は80億円、18.3%の増益、
営業利益率は10.0%でした。
経常利益は94億円、14.2%の増益、
四半期純利益は71億円、32.0%の増益となりました。

2023年度第2四半期 セグメント別業績推移

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2022年度	2023年度	前年同期比	
	2Q(7-9月)実績	2Q(7-9月)実績	増減額	増減率
時計事業	382	414	+31	+8.4%
工作機械事業	209	219	+9	+4.6%
デバイス事業	119	113	▲6	▲5.2%
電子機器他事業	52	55	+3	+6.6%
合計	763	802	+38	+5.1%
営業利益				
時計事業	48 (12.7%)	56 (13.7%)	+8	+16.8%
工作機械事業	28 (13.5%)	28 (13.1%)	+0	+2.0%
デバイス事業	0 (0.6%)	3 (3.1%)	+2	+385.6%
電子機器他事業	3 (7.6%)	5 (9.4%)	+1	+32.4%
消去又は全社	▲13	▲14	+0	-
合計	67 (8.9%)	80 (10.0%)	+12	+18.3%

6

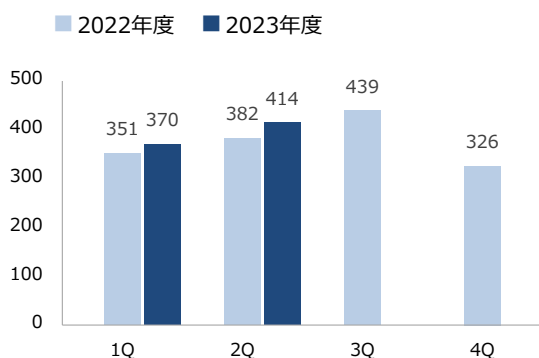
第2四半期のセグメント別業績はご覧の通りです。

全てのセグメントで増益となりました。
この後、事業別の概況を説明します。

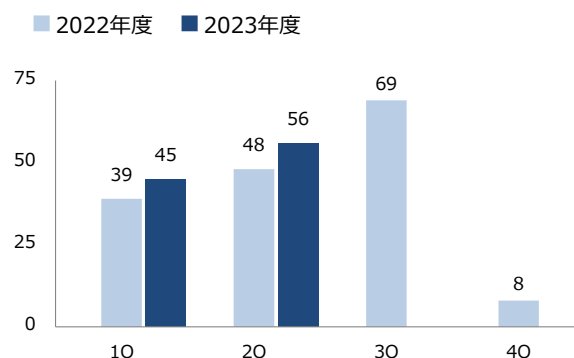
第2四半期（7-9月）

- 完成品販売 国内市場が回復傾向をたどった他、欧州市場も好調さを保ち増収
- ムーブメント販売 アナログクォーツムーブメントは伸び悩むも機械式ムーブメントは堅調に推移し、増収

売上高(億円)



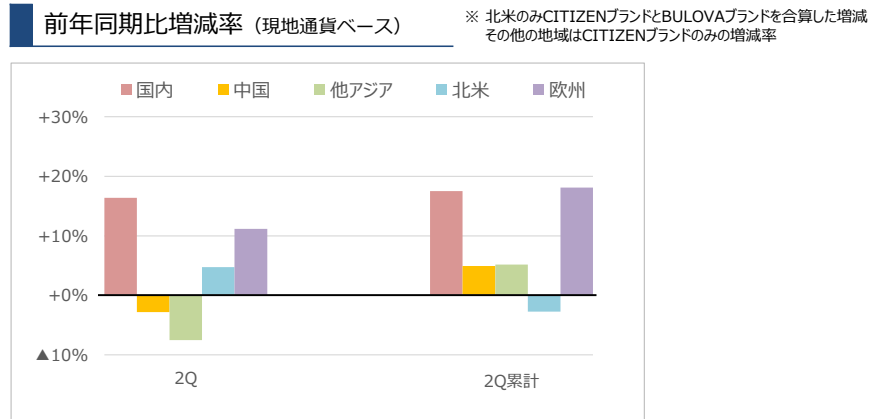
営業利益(億円)



まずは時計事業です。

完成品販売は、国内市場が回復傾向をたどった他、欧州市場も引き続き好調さを保ち、増収となりました。

ムーブメント販売につきましては、アナログクォーツムーブメントが伸び悩んだものの、機械式ムーブメントが堅調に推移し増収となりました。



- 国内 『ATTESA』、『PROMASTER』が全体を牽引したほか、インバウンド需要も回復継続
- 中国 消費マインドの低迷が継続
- 他アジア シンガポールなどでインバウンド需要が堅調だったものの香港が軟調に推移
- 北米 宝飾チェーン・百貨店等に慎重さが見られたがEC販売が好調に推移
- 欧州 イタリアなどが好調さを保ったほかフランスで新たな取扱店を拡大

続いて、現地通貨ベースの地域別売上高、前年比較についてご説明します。

左のグラフが、第2四半期のみの数値となっています。

赤色の国内は、『ATTESA』などの中核ブランドが全体を牽引した他、インバウンド需要も回復基調を継続し、増収となりました。

黄色の中国は、消費マインドの低迷が続いており、わずかに減収となりました。

薄緑のアジア地域は、シンガポールなどでインバウンド需要が堅調に推移しましたが、香港などが軟調だったことにより減収となりました。

水色の北米は、宝飾チェーンや百貨店等で仕入れに慎重な姿勢が見られましたが、EC販売が好調に推移し増収となりました。

薄紫色の欧州はイタリアなどが好調さを保った他、フランスでの売上げが継続し、増収となりました。

プラチナ箔を雪のように舞い散らせた和紙文字板の限定モデル発売

- 年差±5秒の高精度光発電エコ・ドライブムーブメントを搭載
- 土佐和紙にプラチナ箔を施した文字板を持つ数量限定モデル

The
CITIZEN




発売 : 2023年11月
価格 : 希望小売価格 451,000円(税込)
限定数量 : 世界限定500本

9

続いて、プレミアムブランドの新製品をご紹介します。

『The CITIZEN』からは、年差±5秒の高精度 光発電エコ・ドライブムーブメントを搭載し、好評を博している土佐和紙文字板に新たにプラチナ箔を施した新モデルを、今月、グローバルで数量限定にて発売しました。

豊富なカラーバリエーションで人気の“TSUYOSA” Collection

- 海外で“TSUYOSA”Collectionの愛称で親しまれ、人気を博しているモデル
- 発色の良い文字板にシンプルでベーシックな針とインデックスを組み合わせ、すっきりとしたデザインが魅力の機械式時計



価格 : 希望小売価格63,800円~66,000円(税込)

10

こちらは、“TSUYOSA”Collectionの愛称で呼ばれている機械式時計ですが、シチズンブランドのグローバルモデルとしては、今期、最も販売数量の多いヒーローモデルになっています。

“TSUYOSA”という愛称はフランスからはじまり、欧州で人気に火が付き、その後、北米に導入、9月より国内でも販売を開始しました。

■ 巨大氷惑星"Neptune（海王星）"をテーマにした限定モデル「Power of Neptune」が登場

- 『ATTESA』のACT Lineからエコ・ドライブGPS衛星電波時計の最上位ムーブメントF950搭載
- サファイアガラスのベゼルを備えた特別カラーの限定モデル「Power of Neptune」

ATTESA



発売 : 2023年11月
価格 : 希望小売価格 308,000円(税込)
限定数量 : 世界限定 1,900本

11

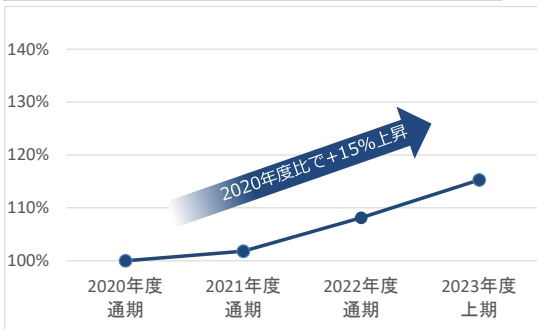
また、『ATTESA』からは、6月に発売した「Power of Antares」に続き、海王星をテーマにした限定モデル「Power of Neptune」を今月、発売開始しました。

30万円という『ATTESA』ブランドの中では高めの価格帯でありながら、「Neptune」モデルも、たくさんの先行予約をいただいております。

ブランドプレゼンス強化による販売単価上昇

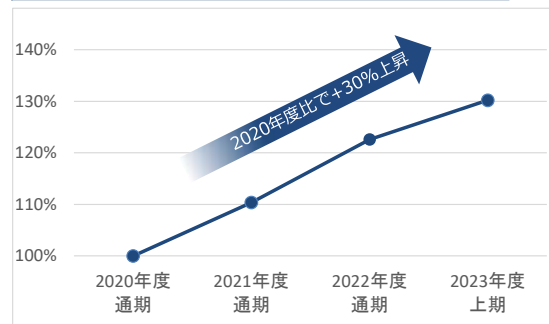
- 国内は『ATTESA』や『PROMASTER』の好調が寄与し、販売単価は上昇基調
- 北米はCITIZENブランド、BULOVAブランドともに高付加価値製品の投入や値上げ実施等により販売単価が上昇

国内販売単価増減率



※ 2020年度を基準とした国内のCITIZENブランドの販売単価増減率

北米販売単価増減率(現地通貨ベース)



※ 2020年度を基準とした北米のCITIZEN、BULOVAブランドの販売単価増減率(現地通貨ベース)

続いて、中期経営計画の方針である、販売単価の向上についてご説明します。

国内では、『ATTESA』や『PROMASTER』などの中核ブランドが牽引し、商品ミックスが向上したことにより、販売単価は2020年度比で15%上昇しました。

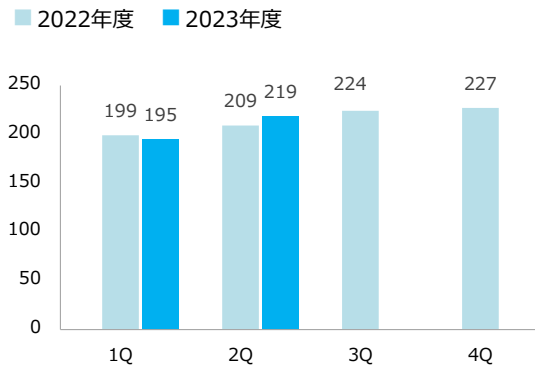
北米では、CITIZENブランドとBULOVAブランドの両ブランドにおいて、より付加価値の高い製品の投入、および値上げを実施したことで、2020年度比30%の単価上昇となっています。

引き続き、より多くのお客さまから共感され、指名買いされるブランドを目指して訴求を行ってまいります。

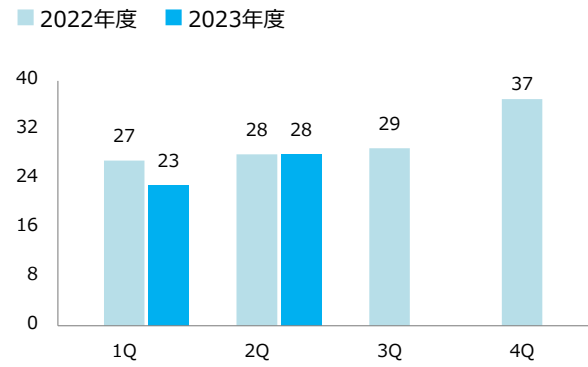
第2四半期（7-9月）

- 国内販売 設備投資への慎重姿勢が広がる中、建機や医療向けなどが堅調に推移し増収
- 海外販売 中国・アジア市場の低迷が続く一方で欧州・米州市場が堅調に推移し前年並

売上高(億円)



営業利益(億円)



工作機械事業の第2四半期の業績の概況です。

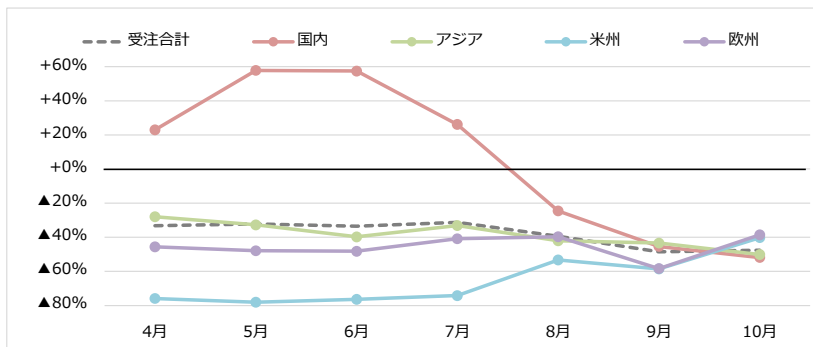
売上高は219億円、前年比4.6%の増収、営業利益は28億円、前年比2%の増益となりました。

国内販売は、設備投資への慎重姿勢が広がる中、建機や医療向けなどが堅調に推移し増収となりました。

海外販売は、中国・アジアの低迷が続く一方で、欧州や米州が堅調に推移し、前年並みとなりました。

営業利益は、部材コストや減価償却費等の増加もあり2%の増益にとどまりました。

前年同月比増減率 (3カ月移動平均受注台数)



2Q前年同期比増減率 (四半期受注台数)

- 受注合計 ▲48% 受注は持ち直しの動きが期待されるものの調整局面が継続
- 国内 ▲45% 設備投資への慎重姿勢が広がる中、全体として市況低迷が継続
- アジア ▲43% 先行き不透明感が強まり市況は引き続き低迷
- 米州 ▲59% 景気後退懸念の高まりとともに減速傾向が継続
- 欧州 ▲58% インフレや景気後退懸念、エネルギー価格の高騰等から設備投資意欲は限定的

こちらは、地域別の受注状況です。

折れ線グラフは、受注台数の3カ月移動平均、前年同月比増減率を示しています。

下の表は第2四半期の前年同期比増減率を示しています。

受注は全体的に調整局面が続いており、受注合計は前年比48%減となりました。

国内は、設備投資への慎重姿勢が広がる中、全体的に市況低迷が継続し、前年比45%減となりました。

アジアは、先行き不透明感が強まる中、市況は引き続き低迷しており、前年比43%減となりました。

米州は、景気後退懸念の高まりとともに受注は減速傾向を辿っており、前年比59%減となりました。

欧州は、インフレや景気後退懸念、エネルギー価格の高騰等から設備投資意欲は限定的なものとなり、前年比58%減となりました。

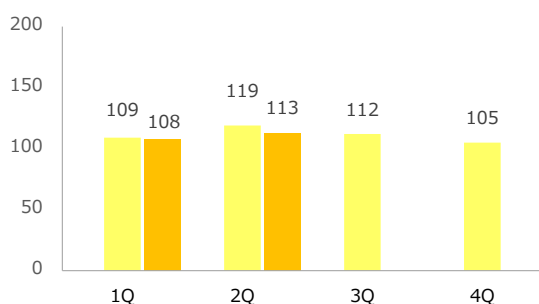
受注水準としては、第2四半期に底入れしたと見られるものの、下期の受注も低い水準のまま、一進一退のみみ合う展開になるだろうと予測しています。

第2四半期（7-9月）

- 精密部品 自動車部品は自動車メーカーの生産回復に伴い販売を伸ばし、増収
小型モーターは医療関連など幅広い分野の市況回復が寄与し、増収
水晶デバイスをはじめその他の製品の低迷が響き、精密部品全体では減収
- オプトデバイス 主に照明向けLEDの落ち込みを受け減収

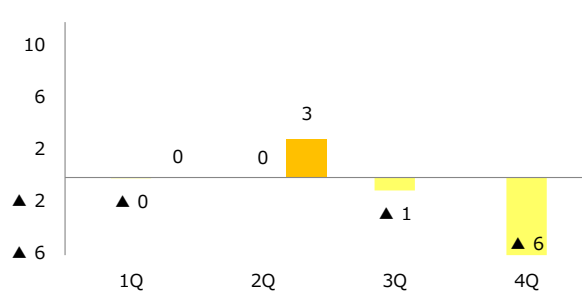
売上高(億円)

■ 2022年度 ■ 2023年度



営業利益(億円)

■ 2022年度 ■ 2023年度



※ 2022年度 1Q営業損失 2Q黒字化
2023年度 1Q黒字化

デバイス事業について説明します。

売上高は113億円と、前年比5.2%減となりましたが、営業利益は3億円となり増益となりました。

自動車部品は自動車メーカーの生産回復に伴い販売を伸ばし増収となりました。小型モーターは医療関連など幅広い分野から受注があり、好調を維持し、増収となりました。一方で、水晶デバイスなど、その他の製品の低迷が響き、精密部品全体では減収となりました。

オプトデバイスは、主に照明向けLEDの売り上げが回復せず、減収となりました。

2023年度下期及び通期連結業績予想

2023年度 下期及び通期連結業績予想

(単位：億円)	2023年度 5/12予想		2023年度 11/13予想		増減額		増減率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
売上高	1,570	3,100	1,571	3,100	+1	+0	+0.1%	+0.0%
営業利益	124	250	114	250	▲10	+0	▲8.1%	+0.0%
営業利益率	7.9%	8.1%	7.3%	8.1%	-	-	-	-
経常利益	133	260	110	285	▲22	+25	▲16.7%	+9.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	103	200	76	210	▲26	+10	▲26.1%	+5.0%
為替レート	¥130/USD ¥140/EUR	¥130/USD ¥140/EUR	¥145/USD ¥155/EUR	¥142/USD ¥153/EUR				

為替影響額 (1円円安の年間影響額)

	USD	EUR
売上高	+9億円	+4億円
営業利益	+2.5億円	+2億円

連結業績予想につきましては、一部修正をしています。

下期の為替レート的前提を米ドル145円、ユーロ155円に変更した他、各事業の直近の状況を踏まえ、見直しをしています。

通期の業績予想は、売上高、営業利益は据え置いています。経常利益は285億円、親会社株主に帰属する当期純利益は210億円と、それぞれ上方修正しています。

2023年度 下期及び通期連結業績予想 セグメント別業績推移

CITIZEN

(単位：億円 / %：営業利益率)

売上高	2023年度 5/12予想		2023年度 11/13予想		増減額		増減率	
	下期	通期	下期	通期	下期	通期	下期	通期
時計事業	800	1,550	874	1,660	+74	+110	+9.4%	+7.1%
工作機械事業	425	870	375	790	▲49	▲80	▲11.6%	▲9.2%
デバイス事業	242	475	198	420	▲43	▲55	▲18.2%	▲11.6%
電子機器他事業	103	205	122	230	+19	+25	+18.9%	+12.2%
合計	1,570	3,100	1,571	3,100	+1	+0	+0.1%	+0.0%
営業利益								
時計事業	83 (10.4%)	170 (11.0%)	94 (10.9%)	197 (11.9%)	+11	+27	+14.4%	+15.9%
工作機械事業	61 (14.4%)	125 (14.4%)	39 (10.6%)	92 (11.6%)	▲21	▲33	▲34.8%	▲26.4%
デバイス事業	5 (2.1%)	7 (1.5%)	▲2 (▲1.0%)	2 (0.5%)	▲7	▲5	-	▲71.4%
電子機器他事業	5 (4.9%)	8 (3.9%)	12 (10.0%)	19 (8.3%)	+7	+11	+144.8%	+137.5%
消去又は全社	▲30	▲60	▲31	▲60	▲1	+0	-	-
合計	124 (7.9%)	250 (8.1%)	114 (7.3%)	250 (8.1%)	▲10	+0	▲8.1%	+0.0%

18

下期の業績予想について、セグメント別にもう少しご説明します。

時計事業は、ムーブメント販売において若干の下振れを織り込みましたが、円安効果により上方修正しました。

工作機械事業は、受注の底入れ時期が想定より早まったため、下期の業績を下方修正することにしました。

また、デバイス事業は、自動車部品が想定通り増収となっている一方で、オプトデバイスや水晶デバイス等の低迷が継続する見通しであることから下方修正しています。

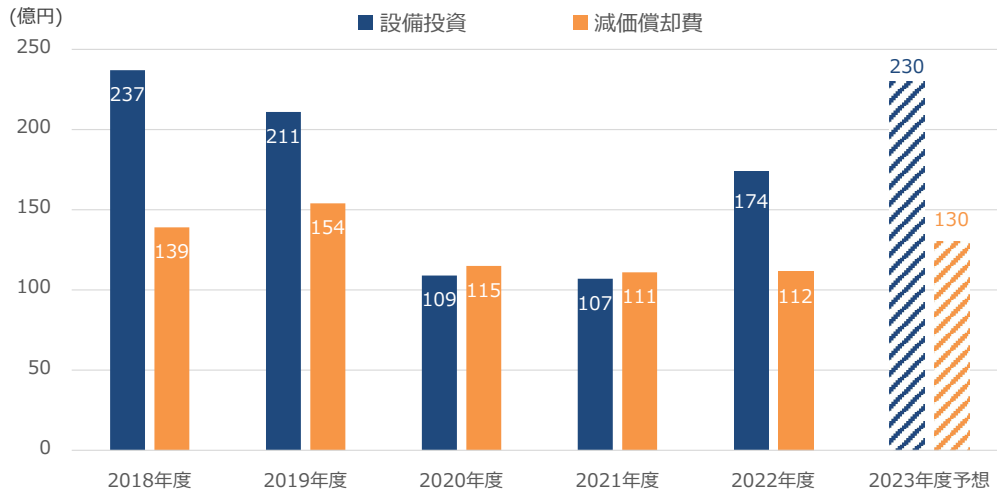
電子機器他事業は、主にフォトプリンターにおいて、半導体入手難により積みあがった受注残の解消に伴う売り上げの増加が期待できるため、上方修正しました。

CITIZEN

本プレゼン資料における将来予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により大幅に異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。
なお、億円未満は切り捨てになっています。

説明は以上となります。

設備投資・減価償却費



- 「中期経営計画 2024」に基づき時計事業の合理化投資および工作機械事業の成長投資を加速
- 投資配分イメージ 時計事業+工作機械事業 7割以上

中期経営計画 株主還元方針 2022~2024年度

- 安定的かつ継続的な配当を重視
- 配当性向 50%目安
- 自己株式取得 状況に応じて機動的に判断

2023年度 配当予想

- 1株当たり配当金 年間40円 (中間 20円 / 期末 20円)

